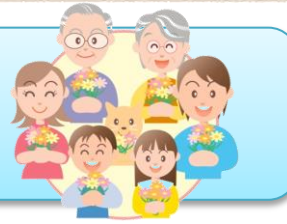


昭和23年に国連総会で世界人権宣言が採択されたのを記念して、12月10日を『人権デー』と定めました。日本では、12月4日から1週間を人権週間として全国的に啓発活動を展開しています。

人権週間

12月4日～12月10日

- ★人権ポスター(天城小学校)
- ★人権カルタ(帯江小学校)
- ★人権標語(多津美中学校)



JA岡山西帯江支店



JA岡山西藤戸支店



有城荘

多津美中学校区の9施設に掲示したよ♪



倉敷児童館



天城憩の家



亀山郵便局



羽島郵便局



天城郵便局



多津美公民館

街頭キャンペーン

12月4日(日)

今年度は、ザグザグ天城店とニシナ加須山店にご協力いただき、第2回街頭キャンペーンを実施しました。

- ★人権啓発ティッシュの配布
- ★たくさんの方とのふれあい



推進委員9名
事務局2名・こころ

総勢12名で人権週間をPR

多津美中学校区人権学習推進委員会

多津美中学校区 人権だより



平成29年3月 発行 第36号

事務局 多津美公民館 TEL 428-6541

微力だけど無力じゃない

倉敷市多津美中学校区人権学習推進委員会 会長 猪股 秀樹



平素は当会事業に深いご理解とご協力をたまわり、ありがとうございます。表題は「わずかな力でも、いずれ大きな力となり、きっと願いは叶はず」と信じて、核兵器廃絶の一人署名活動をしている長崎の高校生たちの合言葉です。私たち一人ひとりの力は小さな力ですが、決して無力ではないのです。

残念なこと、未だ社会には、女性・子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題・インターネットによる人権侵害などの人権課題が多数存在しています。このような状況のなかで大切なことは、私たち一人ひとりが自身の課題として気づき、解決のために行動することでしょう。

当会では、最初の一步を踏み出す勇気と継続する力を与えてくれる高校生のメッセージを胸に刻み、今後も活動を推進してまいります。一層のご支援をよろしくお願いいたします。

こころ



推進委員学習会

11/28～12/3 推進委員17名参加



今年度は、ひだまりいろ(生活介護事業所)第2回文化祭を見学しました。職員の方が丁寧に作品を紹介してくださり、作業工程なども教えてくださったりしました。また、実際に利用者の方と交流し、作品を通じて好きなものや得意なこと、作品への想いを感じることができ、とても有意義な学習会となりました。来年の文化祭もとても楽しみです。今後も、ひだまりいろの方々と交流を続けていきたいです。



お礼に来てくれたよ♪
後日、多津美公民館へかわいいリースを持って訪ねて来ていただきました。ありがとうございました。



多津美公民館 第2回人権教育講演会

1月20日(金)

『私の歩んだ道 一見えないから見えたもの』

感想

講師 元岡山盲学校教頭 竹内 昌彦 先生



・命。子どもを想う親の心、子どもが生まれて初めて親の心を知りました。20歳の頃、竹内先生のお話を聞いていれば…。でも、子どもたちは40歳を過ぎていますが、今日のお話を聞かせていただいたことを参考にして、子ども、孫、夫に対して優しく、イライラしないを目標に、少しずつ変わって生きていきたいと思いました。竹内先生とこの機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。

・ユーモアあふれるお話であつという間に話に引き込まれました。人として親として気づかずに、気づこうとしなかったことに気づかせてもらえるお話でした。子どもたちにとって良い親とはどうい言えませんが、子どもたちを大切に思う心、子どもたちの味方であることは忘れないでいようと思います。



・お話を聞いて感激しました。目の不自由な方への接し方も教えていただき、これから私も声をかけます。勇気をもらいました。

・人生をまっすぐに突き進まれている先生の強く、しなやかな生き方に心を打たれています。



研修視察

9月17日(土)

今年度は、中四国地方で唯一の盲導犬訓練センター『公益財団法人日本盲導犬協会島根あさひ訓練センター』へ総勢26名で研修視察に行きました。

◆参加者の感想◆

- ・初めて間近に盲導犬と接し感激いたしました。たくさんの厳しい訓練を受けて、盲導犬になるのだと思いますが、まずは1歳までにしっかりとパピーウォーカーのもとで愛情をそそいでもらい、人が大好きになるという前提のもとに成り立っているのだなぁと思いました。盲導犬育成に関わっている方々の愛情、人から犬への愛情、そして犬から人への愛情を感じる研修となりました。
- ・盲導犬訓練センターに行くこと、盲導犬にふれあうこと、全てが初めてのことでした。目の不自由な方の苦勞や気持ちを理解でき、とても勉強になりました。これからの生活で自分だけではなく、周りの方などにも今日のことを伝え、障がいのある方へのサポートがみんなでするよう自分自身も努力していきたいと思いました。
- ・盲導犬の生活や訓練の方法、生涯について具体的に知ることができて有意義でした。町中であまり盲導犬に出会うことはありませんが、もしも出会ったら、心の中で応援したいと思いました。

岡山県では19頭の盲導犬が活躍中!

ウイティ

ふれあい・交流活動



障がい者施設 「ぽけっと」交流会 11月15日(火)



多津美公民館調理室にて、総勢38名でおいしいクレープ作りに挑戦しました。生地を混ぜて、フライパンで上手に丸型に焼いたり、果物を切ってアイスクリームや生クリームなどと一緒にトッピングをしました。どの班からも「おいしい!」と声が聞こえてきて、今年もとても楽しい交流会となりました。

天城学区民「ふれあい大会」* 10月2日(日)



倉敷市立天城小学校において、大会実行委員会主催『天城学区民ふれあい大会』が開催されました。3年ぶりの開催となりましたが、約1000名もの多くの方が来場しました。たくさんの出店と地区対抗玉入れ、ビンゴゲームなどのイベントが盛りだくさんのふれあい大会でした。

多津美中学校区青少年を育てる会「親睦大会」* 11月12日(土)

倉敷市立多津美中学校において、多津美中学校区青少年を育てる会主催『親睦大会』が開催されました。約600名が参加し、中学生たちが小学生や園児たちをサポートし、スポーツやゲーム、コンサートなどで盛り上がり親睦を深めました。



帯江学区子ども会「なんでもフェスタ」* 11月27日(日)



倉敷市立帯江小学校において、帯江学区子ども会主催『なんでもフェスタ』が開催されました。あいにくの天気でしたが、続々と来場者が訪れ、約700名が参加し、出店や餅つき、ゲームコーナーなど体育館がたくさんの人で賑わいました。

※ 人権啓発用幟・看板設置、人権啓発ティッシュの配布、人権啓発キャラクターこころ出演

多津美中学校 <<人権作文・映画鑑賞の感想>>

校内人権週間

人権作文や映画鑑賞に取り組みました!!



<<人権を大切にしよう明るい地域をつくりましょう>>
あたたかく思いやりのある人の輪~つなごう・ひろげよう~

①『いじめを通じて』(人権作文)

- ・いじめはその人に大きな影響を与える、改めてそう思えた。見ているだけじゃその人の助けにならないし、その間にも苦しい思いをしている。私は、そんな人に手を差し伸べることができる人になりたいと思う。
- ・感動した。心に刺さった。これを書いた人は前向きな人だと思った。いじめにあったことで相手の気持ちをより深く考えることができるようになった、というのに共感した。

②『平和のバトン』(人権作文)

- ・私も広島平和記念資料館を訪れたことがある。そして、激しい恐怖とともに、その当時の風景が私の頭にうかんだ。亡くなった方の遺品を見ているだけで苦しかった。でも、この時代に生きた人々の思いがあふれていると思ったから、目をそむけることはしなかった。私も、彼女のように、祖父・祖母そして父・母がつないでくれた平和のバトンを渡せるような人になりたい。

③『変わらないもの』(人権作文)

- ・「その人のことを理解して寄り添う」ことは大切だと思ったし、すごいことだと思いました。
- ・この作文は介護する人たちのとても前向きな姿勢が見えた。僕の祖父は、体の半分がマヒして動けなくなっている。上手く話すこともできない。だから僕は、そんな祖父に前向きな姿勢で接していきたい。

④『見えないから 見えたもの』(映画鑑賞)

- ・今回の鑑賞で学んだことは、どんな辛い出来事があったとしても、それに立ち向かって、何としてでも「生きる」という気持ちが大切だと分かりました。



- ・私が一番心に残ったシーンは、主人公が、お母さんと二人で病院のベランダで「3階から飛び降りたら死ぬかな…」といていたシーンです。辛くて苦しいはずなのに、それでも死んだらおえんといっているところがすごく感動しました。諦めずに生きたからこそつかみとった人生なんだと気づかされました。
- ・竹内さんがいたから、障がい者に対して優しい環境が生まれたんだと思った。

帯江小学校 人権教育講演会

11月5日(土)

『みんなで考えよう ネットの世界』

講師 環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科 特任教授 平松 茂 先生



○ 保護者の感想

- ・分かっているつもりでも知らないことがたくさんあり、便利なもので溢れかえっている日常の中、自分が気をつけて理解していかないと怖いことを改めて考えさせられた。
- ・ゲーム機のリスクを知ることができてよかった。ブルーライトの影響も気になっていたのでメラニンの話も教えていただけてよかった。子どもと話し合いたい。

帯江幼稚園 人権教育講演会

11月19日(土)

『伝えたい言葉・歌 ~僕と君~』

講師 元倉敷市立北中学校長 内田 隆志 先生



○ 保護者の感想

- ・私たちは、毎日、子育てや仕事をしながら一生懸命生活している。その間にも、世界では様々な出来事が起きている。今、当たり前で生活できることのありがたさに気付かされた。日常の中で忘れがちになっている「幸せ」について考えるきっかけになった。
- ・何も考えずに生活していたら、差別だと思っていないことも差別になっているのかもしれない。戦争を知らない国に生まれた人。平和を知らない国に生まれた人。自分たちがどれだけ幸せか、自分たちには何ができるのか、当たり前で当たり前ではないということを改めて考えることができた。